

暖房器具による火災に注意しましょう!

寒さが本格化する季節となり、暖房器具が原因の火災が多く発生するなど、火災危険が高まる冬の時季となりますので、石油ストーブなどの暖房器具の正しい取扱いをお願いします!

使用時の注意点

○ 給油後は、カートリッジタンクの口金を確実に閉める!

カートリッジタンクに灯油を補給した後は、キャップの締付けが完全にされているか必ず確認し、ストーブにセットしてください。

○ 給油する際には、必ずストーブを消す!

給油をするときは、必ずストーブを消してください。
また、こぼれた灯油をそのままにしておくと、引火するおそれがあるので、すぐに拭き取ってください。

○ 寝るときは、必ずストーブを消す!

ストーブをつけたまま寝ると、寝返りをうった時などにストーブに布団が接触し、燃え移るおそれがあります。

○ ストーブの近くで洗濯物などを干さない!

ストーブの上部や周囲に洗濯物を干したり、紙類やスプレー缶を置かないでください。

気付かないうちに落下して衣類に燃え移ったり、引火や爆発の危険があります。

○ 薪ストーブや煙突を正しく設置する!

ストーブ本体や煙突の熱が周囲の木材を長期間熱し、壁の内部や屋根裏など見えないところで炭化が進行することで、突然火災に至る場合があります。

火災を防止するため、火災予防条例等で定められている距離をとる等、正しく設置することが重要です。

○ 薪ストーブから離れる際は、扉やふたを確実に閉める!

扉やふたが開いていると、火の粉が飛散し火事になる場合がありますので、確実に閉めましょう。



住宅用火災警報器の点検をしましょう!

年末の大掃除とともに、住宅用火災警報器の電池が切れていないか点検しましょう。住宅用火災警報器は、火災を早期に知らせてくれる、火災時の強い味方です。設置がまだの方は、この機会に必ず住宅用火災警報器の設置をお願いします!

10年経ったら交換しましょう



点検方法

ピピ、
ピーピー



ボタンを押す

ピーピーピー
火事です



または ひもを引く

正常をお知らせする警報音または
メッセージが流れます。